

(参考様式6)

農山漁村振興交付金（農山漁村活性化整備対策）
事業活用活性化計画目標評価報告書

平成30年8月30日作成

活性化計画名	荒井町島地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
栃木県（代表）	090000	1	平成26年度	平成26年度
大田原市	092100		～平成29年度	～平成28年度
活性化計画の区域				
栃木県大田原市荒井町島地区				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
定住等の促進に資する基盤整備の円滑化	1年	1年	100%	

(コメント)
事業活用活性化計画の目標値に対して100%達成された。
また、活性化計画の目標である、「当該地の定住人口及び集落戸数を維持する」については、人口403人、集落戸数124戸（H30.4.1現在）となり計画時の人口413人、121戸（H26.1.1現在）を維持することができた。
基盤整備事業については、平成29年度に着手し計画通りに進んでいる。
なお、平成28年度は農業競争力強化農地整備事業を活用し、経営体育成促進換地等調整を実施している。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
基盤整備 (地形図作成)	地形図作成 A=110ha			大田原市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
大田原市	平成26年度	平成26年度	-	

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
基盤整備 (農用地等集団化)	経営体育成促進換地等調整 A=70ha			大田原市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
大田原市	平成27年度	平成27年度 (平成28年度は農業競争力強化農地整備事業)	-	

事業の効果
地形図の作成及び経営体育成促進換地等調整事業を実施したことにより、農地整備事業に円滑に着手することができた。

3 総合評価

(コメント)

[大田原市]

地形図の作成及び経営体育成促進換地等調整事業は、農地整備事業には必要な事業であり、本事業の実施が円滑な事業着手に繋がったと思われる。

今後の農地整備事業が計画通りに実施されることで、後継者が積極的に農業に取り組める条件が整備され定住の促進が期待される。

[栃木県]

本事業により農地の集団化が円滑に進み、基盤整備事業が着手されたことで、農作業の効率化・省力化が図られ農業経営の向上が期待される。

4 第三者の意見

(コメント)

本事業の実施が農業基盤整備事業の円滑な実施に繋がり、農地の集積化、大型農業機械による農作業の効率化・省力化、担い手の確保が図られると思う。

また、高収益作物の作付けにより農業所得が増加し、後継者の農業経営意欲が向上し当地区に定住することを期待したい。